

岩国ライオンズ

二胡演奏や合唱

障害者と交流会 バーベキューも楽しむ

岩国ライオンズクラブ(末田幸一会長)は14日、恒例となっている市障害者サービスセンターとの交流会を開き、中国の伝統的な楽器・二胡(にこ)の演奏に耳を傾け、バーベキュー料理に舌鼓を打つなどして触れ合いを深めた。会員がもてなし役を務める交流会は活動の柱に掲げる奉仕の一環。車いすの障害者とその家族ら約40人が参加、岩国短期大学と岩国YMCA国際医療福祉専門学校(岩生、看護師がサポートした。演奏会はサンライフ岩国の体育館で開かれ、末田会長が開会あいさつを述べ(写真)この日が「母の日」であることちなみ、「笑



顔が親孝行になります。最後まで楽しんで」と呼びかけた。

二胡を演奏したのは中国大連市出身で医学博士でもある姜曉艶(ジャン・シヨウイェン)さんと姜さんが院長を務めている「二胡音楽院」の院生ら計15人。姜さんは流ちょうな日本語で「おはようございます。母の日を楽しんでください」とあいさつ、「情熱大陸」で開演し、

自身が作詞と作曲を担当した「リメンバー」を弾き語り演奏した。「春の小川」や「おぼろ月夜」などの唱歌・童謡の演奏では二胡の伴奏とクラブの会員の歌声に合わせて参加者一同が合唱した。



姜さんらによる二胡の演奏に合わせ、歌声を披露するクラブのメンバー

来場者を前にかりゆしウェアで薄茶をたてる部員

ため、昨年度から小・中学生を対象に「子ども大工チャレンジ」を始めた。昨年進めている。研修会も事業の一環として開催しており、木を使った物づくりを